

# 議会報告会 会場報告書

担当班：第2班 班代表者：稲山 悟

概 要		
地区名 : 篠山地区 日時 : 令和7年5月21日(水) 場 所 : 丹波篠山市民センター 催事場1・2 参加人数 : 26人(男22人・女4人)	(1) 開会あいさつ : 稲山 悟 (2) 質疑応答 : 稲山、堀毛 (3) 意見・提言等 : 堀毛、桐村 岡 圭子 (4) 閉会あいさつ : 岡 圭子	挨拶・総括 : 稲山 悟 司会進行 : 小畠 政行 記録・受付 : 堀毛、降矢、桐村 岡、稲山 会場(マイク) : 降矢 杏奈

## 【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
※第1部 議会報告に係る質疑・意見はなかった。	

# 議会報告会 会場報告書 2部『自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来 ～持続可能な活動に向けて～』

篠山地区 2班 班代表者：稲山 悟

## A 参加者からの意見や課題

- ・自治会役員の担い手不足、運営方法について
  - ・市からの役員要請・会議が多い
  - ・さまざまな集金・自治会運営の財源確保について
  - ・市の各種補助金の申請手続きについて
  - ・人口減少、少子高齢化について
  - ・認可地縁団体への移行について
  - ・農業後継者、農業の担い手不足について
- ・耕作放棄地、獣害対策、空き家について
  - ・道路整備について
  - ・防災対策について
  - ・子どもの通学路安全対策について
  - ・行事への参加者が少ない
  - ・まちづくり協議会の組織や行事が十分に周知されていない
  - ・若い人の参加や意見が欲しい

## B 参加者からの対策や解決するために必要なこと

- ・役員のなり手不足は自治会ごとに異なり、自治会の合併も検討
  - ・集金の機会を減らす。高齢者の自治会費の減額
  - ・道路整備は行政への要望を継続していくしかない
  - ・市の補助金は使いやすいように変更してほしい
  - ・若者や女性の参加、活発な SNS の活用、紙による資料も併用
- ・役員任期のルール化、業務効率化でハードルを下げ、住民全体の主体的な関わりを促していく
  - ・日ごろからの関係機関との連携が不可欠であり、役割分担を明確化し、協力体制を築いていく
  - ・課題を共有し、住民理解を深め、継続的に改善を図っていく



### 【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・自治会の課題は、地区・地域、規模などによってさまざまであり、また、市行政の縮図といえる面もある。
- ・さらに少子高齢化が進展するなか、人口減少は確実な未来であり、全体最適の観点から、一律にご理解いただかなければならない面もあるが、自治会に寄り添い、個別の課題に柔軟に対応していかなければ持続可能な自治会の運営はできないのではないかと考える。
- ・人口や経済が右肩あがりの時代は「拡充」であったが、人口減少社会では共通認識として「縮充」の観点をとり入れていく必要があるのではないかと考える。
- ・まちづくり協議会の活動や広報が十分にできていないので、SNS を積極的に活用していくべきであるが、すべてを SNS に移行するのは難しいので、状況に応じて紙の資料を併用するとともに、講習会の開催、若者や女性の参加が必要。